

# WordとExcelの連携

---

論文やレポート風の文章を作成する

# 今回の学習内容

---

- ▶ 論文やレポートの作成に役立つ事柄
- ▶ スタイル
- ▶ 相互参照 (クロスリファレンス)
- ▶ 目次

## 注意

- ▶ 今回は特に**こまめに保存**するのをお忘れなく  
特に図を入れる場合などに「落ちる」場合があります

## 準備

---

- ▶ ホームページからファイルをダウンロードして
- ▶ Excelのファイル (xlsxファイル)
- ▶ テキストファイル (txtファイル)

# グラフの作成

---

まず、Excelを起動し、グラフを作成しておく

1. ダウンロードしたExcelのファイルを開く
2. グラフを作成する
3. とりあえず保存しておく

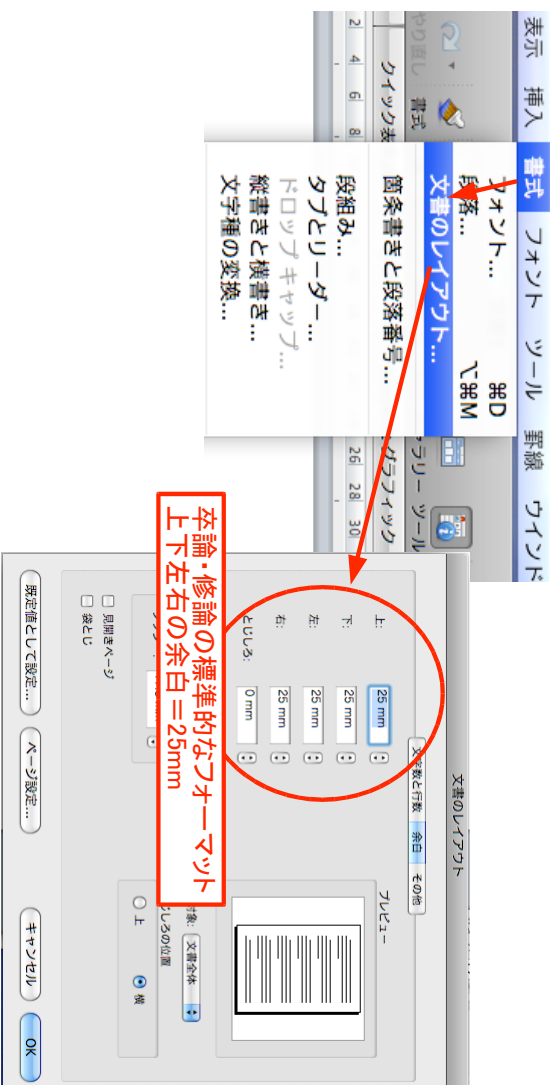
※グラフはあとで利用する

# Wordを起動する

---

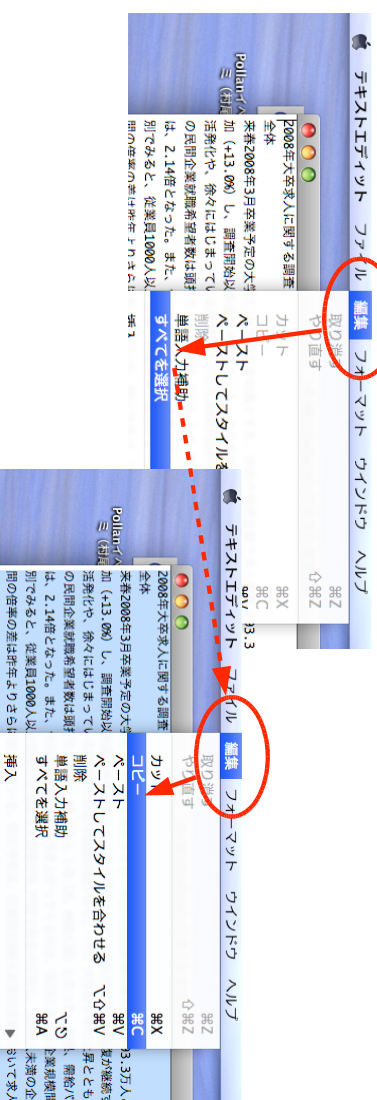
- ▶ Excelはとりあえず終了して良い
- ▶ Wordを起動し，文書作成を開始する

# まず文書のレイアウト



# 文章の準備 (1)

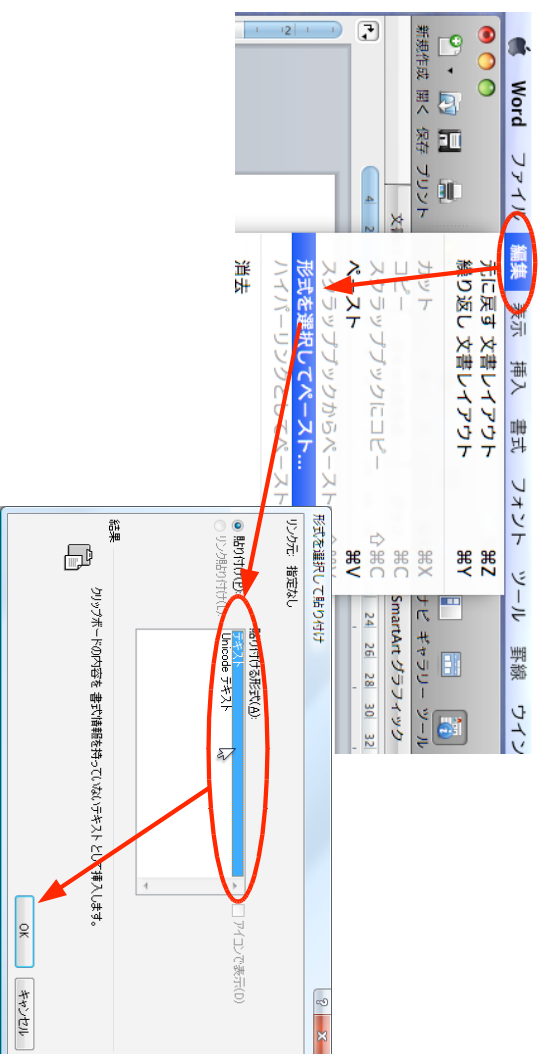
1. ダウンロードしたテキストファイルをダブルクリック
2. テキストエディットが起動する
3. 「編集」メニューから「すべてを選択」し、「コピー」





## 文章の準備 (2)

### ▶ Wordに戻りテキスト形式でペースト



## 文書の準備 (3)

### ▶ 以下のようにテキストを整形

### ▶ 余分な改行を取り除き，学番・氏名を入れる

2008 年大卒求人に関する調査

0801234c 神戸 花子

全体

来春 2008 年 3 月卒業予定の大学生・大学院生を対象とする、全国の民間企業の求人総数は 93.3 万人と昨年よりも 10.8 万人増加 (+13.0%) し、調査開始以来最高水準となった。その背景として、景気の緩やかな回復が継続する環境下での求人需要の活発化や、徐々にじまっている団塊世代の定年退職問題がある。一方、大学進学率の上昇とともに増加し続けていた、学生の民間企業就職希望者数は頭打ちとなり、43.7 万人 (-0.1%、400 人減) となった。結果、需給バランスである求人倍率は、2.14 倍となった。また、今回の調査結果から浮き上がったのは、採用における企業規模間格差の拡大である。規模別で見ると、従業員 1000 人以上規模の企業は求人倍率が 0.77 倍であるのに対し、1000 人未満の企業は 4.22 倍と、企業規模間の倍率の差は昨年よりさらに拡大している。特に今年度は、従業員 1000 人未満の企業において求人



## スタイルの適用手順 (2)

### ▶ 全てのスタイルの表示



「一覧」から「すべてのスタイル」を選択

# スタイルの適用

表題

2008 年大卒求人に関する調査

署名

見出し1

全体

0801234e 神戸 花子

本文字下げ

来春 2008 年 3 月卒業予定の大学生・大学院生を対象とする、全国の民間企業の求人総数は 93.3 万人と昨年よりも 10.8 万人増加 (+13.0%) し、調査開始以来最高水準となった。その背景として、景気の緩やかな回復が継続する環境下での求人需要の活発化や、徐々ににはじまっている団塊世代の定年退職問題がある。一方、大学進学率の上昇とともに増加し続けていた、学生の民間企業就職希望者数は頭打ちとなり、43.7 万人 (+0.1%、400 人減) となった。結果、需給バランスである求人倍率は、2.14 倍となった。また、今回の調査結果から浮き上がってくるのは、採用における企業規模間格差の拡大である。規模別で見ると、従業員 1000 人以上規模の企業は求人倍率が

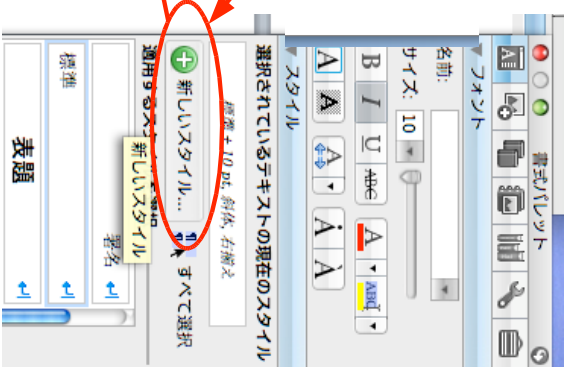
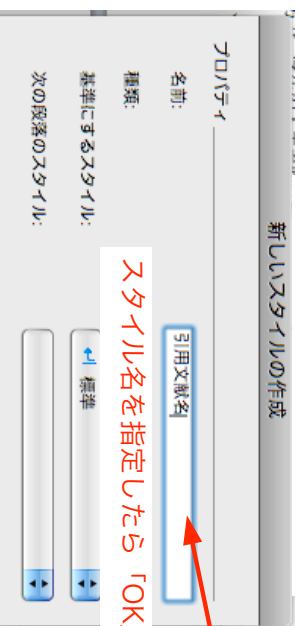
# 新しいスタイルの作成手順

1. スタイルを適用したい場所の書式を変更
2. スタイルを登録

、求人倍率は昨年より増加し、0.72倍となった。「金融業」は昨年求人総数・  
数ともに大幅に増加したが、今年は高留まりの状況があると考えられる。以  
意欲は全業種において高まっているが、民間企業・特別雇傭業種が業種によっ  
業種間での求人倍率の差が大きくなった。」

株式会社リクルートワークス研究所 第24回ワークス求人倍率調査より抜粋。

右揃え、8ポイント、斜体に設定



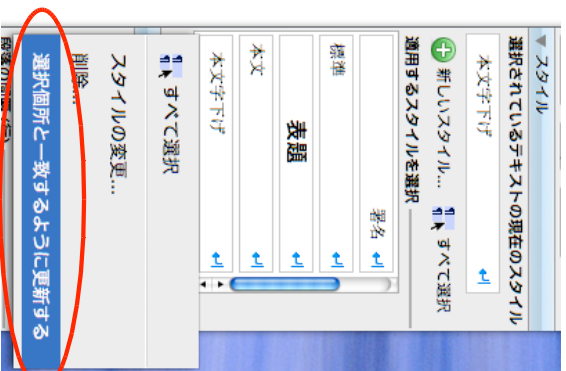
# スタイルの利用

## 1. 第1章の題名のスタイルを少し変更する

- 段落数字を付ける
- 前後の行間の変更 (前1.0行, 後0.5行)
- フォントの変更 (16ポイント, 太字)

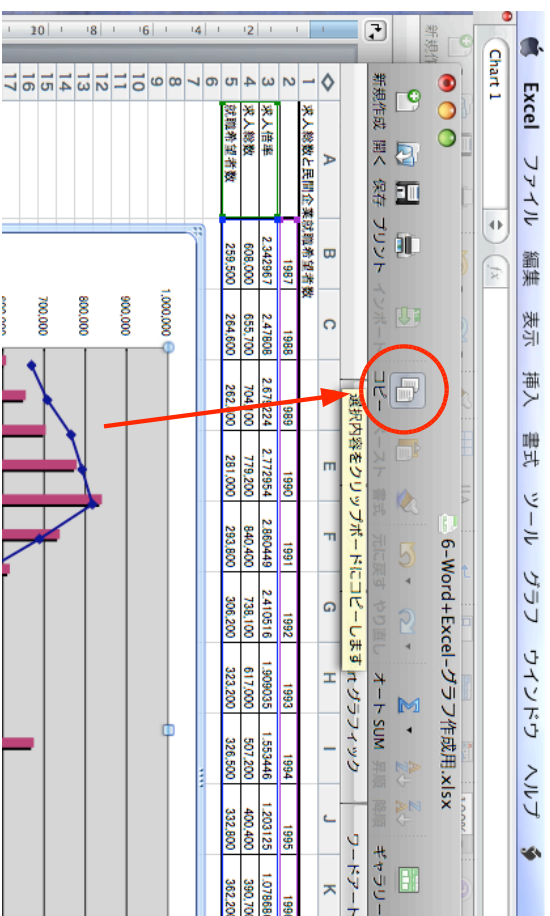
## 2. 「見出し1」を選択箇所的一致させる

→ 「見出し1」の適用部分が全て変更される



# グラフの挿入 (1)

- ▶ Excelで表を開き，グラフをコピー





# グラフの挿入 (2)

1. Wordに返り

2. グラフを挿入したい場所をクリックして

3. 形式を選択して貼り付け

4. PDFを選択  
※Windowsならばビットマップを選ぶ

# グラフの挿入 (3)

身し、それぞれ「流通業」7.31倍、「製造業」2.64倍、「サービス業」0.399倍となった。この結果、業種間での求人倍率の差は、業種「サービス業」の求人倍率が最も低く、業種「流通業」の求人倍率が最も高くなる。この結果、業種間での求人倍率の差は、業種「サービス業」の求人倍率が最も低く、業種「流通業」の求人倍率が最も高くなる。

求人倍率  
総数と民間企業就職希望者数をみる。0。「従業員総数」と「民間企業就職希望者数」をみる。0。「従業員総数」と「民間企業就職希望者数」をみる。0。

図を右クリック

折り返しは「外周」が良い

グラフの大きさを調節する  
※ Shiftキーを押しながら調節するとアスペクト比が保たれる

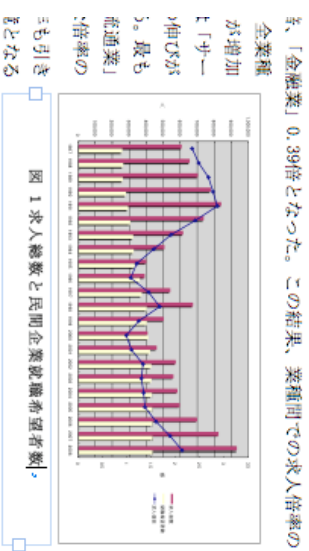


# 図表番号部分の編集

▶ 図表番号部分を以下のように変更

▶ 題名を入力

▶ 題名を中央揃え



最終的にはこんな感じに...



# 他の図も同様にやってみよう

## 2. 従業員規模別求人数

従業員規模別の求人総数と民間企業就職希望者数をみる(図 2)。「従業員

1000人未満企業」の求人総数は79.0万人と、昨年の63.8万人より5.2万人増加(+14.3%)。一方、民間企業就職希望者数は17.3万人と、昨年より1.3万人の減少(-7.1%)。したがって、求人倍率は昨年の3.42倍から4.22倍

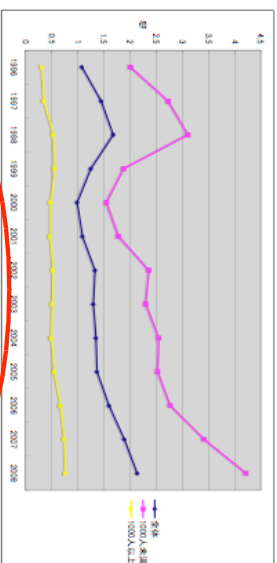


図 2 従業員規模別求人倍率

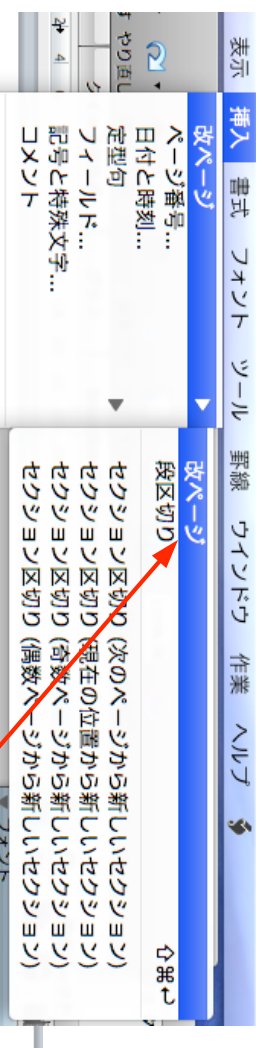
1. 図表番号の挿入

2. 相互参照の挿入



# 改ページの挿入

## ▶ 目次を別のページにする



文章の先頭にカーソルを移動し、改ページを挿入

2008 年大卒求人に関する調査.....1	
1. 全体.....1	1
2. 従業員規模別求人数.....1	1
3. 業種別求人数.....2	2



# ページ番号の挿入

